

学校通信



喜多見



No.7 令和6年11月26日

喜多見の学び舎
世田谷区立喜多見中学校
校長 紺谷 祥一〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)
E-mail: dai131@setagaya.ed.jp http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/

レンガ造りのヨウカンを訪ねる

校長 紺谷 祥一

右は本年2月に実施された、都立高校一次・分割前期学力検査における国語の設問（大問1と2）です。これに加え、数学の大問1については、去る10月11日（金）に行った第2回進路説明会でも冒頭に配布し、話題としました。席上でも少し触れましたが、正答率の違いは文字通り語彙力の差にあると感じています。都教委の調査発表によれば、大問1（3）の誤答には「そ」が多かったとのことで、正答率は4割程度でした。また、大問2（1）では、ヨウカンの正答率は7割強とのこと。受験総数は約3万4千人でしたから、1万人弱が正しく書けなかったことになります。この資料を職員室でも配布したところ、『“西洋”や“体育館”は正しく書けるだろうに、“洋館”が書けないのは言葉を知らないからではないか…』という声が上がりました。都立高校の入試問題は学力調査と異なり、選抜のための問題ですから確かに難しさはあります。しかし、各問には都教委のメッセージが込められているとも言われます。子どもの語彙の力について気がかりです。

そもそも語彙力とは、「言葉を理解する力」と「言葉で相手に伝える力」の二つであるとよく定義されます。主体的・対話的で深い学びを支えるのには一定の語彙力が欠かせません。また、「語彙力」の高さと「学びの深さ」には相関関係があるとも思います。人は言葉で思考する、と言われるからです。

最近手にした本にも、若者の語彙力の低下が指摘されていました。その本によれば、語彙力の乏しさから喜怒哀楽の感情全てが「ヤバい」の一言で表現されているというのです。本校でも、確かに子どもたちの普段の言葉に耳を傾けると、この「ヤバい」はよく使われている様子。そのことに良し悪しはありません。肝心なのは場面に応じて豊かな表現を使い分けることができるかどうかということでしょう。

語彙力を高める方法には、いくつかポイントがあります。まずは新しい言葉にたくさん出会うこと。読書はその手段としてすぐに思い浮かぶでしょう。学び舎の日に喜多見小を訪問した際、司書さんに尋ねたのですが喜多見小では月に平均2千冊を超える本の貸し出しがあるそうです。一方、本校では約2百冊です。小学校では授業中に学級で図書館を使うことが習慣化しているとは言え、中学生になると一気に活字離れが進んでいます。次に、知らない言葉に出会ったらその意味を調べる作業が肝要です。辞書はもちろん、WEBで検索してもいいでしょう。その際、用例をチェックすることも非常に重要です。そして、その言葉を使うことで定着が期待できます。インプットした語彙をアウトプットすることで、ようやく自分の言葉にすることができるからです。本校の国語科の先生たちにもその指導姿勢を確認することができます。下はいずれも今回の期末考査に出題された問題からの抜粋です。

- ・「あたかも」の意味を正しくふまえた六文節以上の短文を作りなさい。（1年：担当 高須）
- ・「おろそか」の文脈中の意味を簡潔に答えなさい。また、「おろそか」を使った短文を自分で考えて、四文節以上の一文で書きなさい。（2年：担当 西城）
- ・「肩をもつ」を用いて六文節の短文を書きなさい。（3年：担当 飯森）

アウトプット！

メールやSNSが全盛な今日にあって、流通している言葉がどんどん軽くなっていると感じます。各ご家庭においても、平素の会話や子どもたちを取り巻く言葉の環境に少し意識を置いてみてください。上の入試問題に係る調査結果は、「令和6年度東京都立高等学校入学者選抜学力検査結果に関する調査について」でWEB検索ができます。

1

次の各文の――を付けた漢字の読みがなを書け。

2

花瓶に挿した一輪のバラを部屋に飾る。
主張の根拠を明確にして意見文を書く。
カメラを三脚に据えて記念写真を撮影する。
歴史的に価値のある土器が展覧会に陳列される。
絵本を読み幼い頃の純粋な気持ちを思い出した。

(5) 満開のサクラを眺めながら公園を歩く。
(4) 駅前のバインで温かい飲み物を買う。
(3) ホテルのキャクシツへ自分の荷物を運ぶ。
(2) 心を込めてソダてたトマトが赤く色付く。
(1) 大正時代に建設されたレンガ造りのヨウカンを訪ねる。

- (1) 72.4%
(2) 93.5%
(3) 91.3%
(4) 82.4%
(5) 90.4%

- (1) 88.0% (2) 98.0%
(3) 40.2% (4) 77.6%
(5) 94.8% 【正答率】

各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

1年生の様子から（樋口絃子）

1年生は、2学期の大きな行事を終えて、クラスの関係性がステップアップしています。クラスの仲間の意外な一面や良さを見つめ、仲間の頑張っている姿や先輩の姿を目の当たりにし、いい意味で刺激されているようです。

定期考査後より、1年生の総合的な学習の時間では、進路学習が「未来科」と題しスタートしました。「自分を知る・深める」といった自己理解を深める探求学習です。自己理解を深める作業は、進路学習の大きな柱です。自己理解は将来の夢を広げ、自分の中に眠る多くの可能性の発掘作業につながります。まず初めの一歩として、12月は、「マジプロ」に取り組みます。12月の発表に向けて、自分の好きなこと、興味関心の高いことを掘り下げながら、自分の好きなこと一生懸命頑張っていることを伝える力、発信する力、プレゼンテーション力につけていきましょう。自分の個性を生かした生きがいのある進路を切り開く一歩となることを願っています。

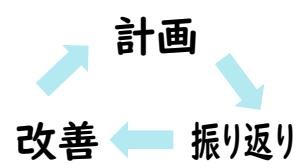
「マジプロ」とは…

「自分の好きな事物を本気（マジ）でプロデュース」— “自分の好きなもの”を深く熱く語ることが自分をアピールする最大のチャンスと捉え、1分程度で紙やパワーポイントを中心に原稿や発表資料を作り、発表します。

【発表会の予定】（詳細は後日）
12/24（火）①②校時

2年生の様子から（下出和幸）

期末考査が終わりました。2年生の生徒からは、「勉強したのに点数が上がらない。」や「何を勉強していいかわからない。」の声を耳にします。学習方法を自分で考えることの苦手な生徒が多いと感じます。各教科で振り返りの時間や課題が出てきます。自分の考えがどう変わったのか、何が身についたのか自己分析をするのです。また、考査前に「勉強の足跡」が配布され学習計画を立てていると思います。各教科の振り返りと学習計画がリンクしていることに気づいていますか。①各教科の振り返りで分からぬことを明確にする。②学習計画で分からぬ部分を補う学習をする計画を立てる。③実際に実施して、学習内容や学習時間を記入する。④結果や学習計画がどうであったかを振り返る。⑤どう対策して次の考査でどんな学習計画をするかを考える。また①に戻る。学習計画を振り返ることでこのサイクルを促しています。吉田松陰の言葉に「過ちがないことではなく、過ちを改めることを重んじよ。」があります。ご家庭で、どのような過程で学習したかを話し合い、どう改善するかを話し合ってみてはいかがですか。そして、改善への意欲を大切にしてください。



3年生の様子から（小柴なぎさ）

受験に向けて気持ちを高め、頑張り続けた2学期も残り1か月で終了します。期末考査では、ここまで頑張ってきた成果を出し切れた人も、悔しい思いをした人もいます。それらの結果は進路に関わる成績として「仮評定」として反映させてお伝えもしています。いよいよ11月末から12月初めには、卒業後の進路希望先に向けて、最後の進路面談を行います。今まで多くの人が小中と同じ道を進んできました。しかし、卒業後はそれぞれ自分の道を歩まなければなりません。人生にとって最初の大きな「選択」を迫られていますが、最後には自分が納得して自分の進む道に踏み出してほしいと思います。

それでも受験はみんなで乗り越えるという気持ちをもち、残り少なくなってきた学校生活も充実して過ごしてほしいと思います。日々の授業や休み時間、クラスで過ごすひと時など…。今は当たり前の日々も、冬休みが終わるとわずかしかありません。学校で会える仲間や先生方など多くの人に感謝をして、自分のやるべきことにベストを尽くしていきましょう。自分と真剣に向き合い、「自分とはどのような人間なのか」「自分らしく生きるとはどのような生き方なのか」等について、よく考え、自らの生き方を自分自身で決断できるようになってください。

決
断

E組の様子から（細井俊吾）

先月の本校体育館での合唱コンクールでは、その当日まで実は様々な子どもたちの横顔がありました。それぞれの学年のクラスに交流しながら参加する人、吹奏楽部の発表に加わった人、また、それらを会場や教室から応援する人など、自分らしく過ごす姿があったのです。練習開始当初は「大勢のところに入って歌うの緊張するなあ」「（歌う曲を聞いて）知らない曲だ…」など、生徒たちは合唱コンクールに不安な様子がありました。運動会などの行事で他クラスとの交流の経験はあるものの、30名ほどの学級に混ざって一緒に練習をすることは生徒たちにはとても緊張があったことだと思います。それでも、多くの生徒たちは当日まで放課後練習等にも頑張って参加しました。音楽の授業では樋口先生の丁寧な指導を受け、少しずつ歌詞やメロディを覚えていき、不安や緊張を解きほぐしながら同時に自信を身に付けていきました。

今年の合唱コンクールのスローガンは「～心ひとつに～」でした。それぞれのクラスで実際に優勝を目指して参加したり、参加はできずともE組の教室からオンラインで鑑賞をしながら応援をしたりと、生徒たちはそれぞれの参加方法で「心ひとつに」して合唱コンクールを楽しみました。





今号の「**わたしのきみち**」は、都立西高校に通う斎藤 ●●さん（R.5年度卒）。斎藤先輩は修学旅行のしおり表紙絵や学習成果展覧会のポスター制作など、得意の美術分野で数々の場面で活躍、貢献しました。勉強にも熱心で、第一志望校だった西高の難関も見事突破して巣立ちました！

こんにちは！昨年度喜多見中学校を卒業し、現在都立西高等学校に在学している斎藤●●です。今回は、今までの高校生活を通して身につけることのできた力についてお話ししようと思います。

まず、私の通う高校について紹介させてください。都立西高等学校、通称西高は進学指導重点校に指定されながらも部活動や行事を盛んに実施し、伸び伸びとした校風が特徴的な学校です。授業はどれもハイレベルですが、個性豊かで刺激的な仲間たちと共に学べるこの環境はとても貴重だと日々感じます。

さて、西高では9月15～16日に第78回記念祭が開催されました。今年は3000人も超える方々が西高へと足を運んでくださいました。私は、この大規模なイベントに記念祭実行委員会副委員長という形で携わりました。副委員長の仕事は色々とありますが、主に「副委員長企画」の考案と公演があります。これは毎年1年副委員長が取り組むもので、ステージにて行われる企画を一から練り上げます。これを通して私は「洞察力」を培うことができました。入学して1ヶ月ほどで記念祭実行委員会に所属し、記念祭どころか学校施設の配置さえも掴みきれていない中で企画を創るのは容易くありません。しかし、普段からアンテナを張ったり、積極的に周囲から意見を求めたりすることで、だんだんと西高の雰囲気や企画のイメージ像を浮かび上がらせることができました。

みなさんも、まずは小さなコミュニティにおいて視野を広げてみてはいかがでしょうか。きっとたくさんの発見が得られるでしょう。最後に、みなさんの今後の活躍を期待しています。3年生はこれから受験が本格化していくと思いますが、自分に負けずに最後まで走り切ってください！もし余裕があったら来年度の記念祭では、私が記念祭実行委員会委員長を務めさせていただきます。興味のある方はぜひ西高にお越しください！

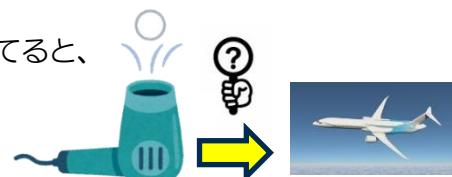


わたしの 授業

今月は下出 和幸先生（2年副担任、理科担当、ボランティア部顧問、本校1年目）の授業紹介です。紙とペン、コンピュータ等によるシミュレーション中心の「理論物理学」に対し、下出先生の専門は「実験物理学」。様々な実験装置を用い実際に自然と対話する研究スタイルは、まさに先生らしいです！

まず、イラストで示したようにピンポン玉にドライヤーで上向きに強風をあてると、ピンポン玉はどんな動きをするでしょうか？二択で考えてみましょう。

- ① ピンポン玉は風圧で飛んでいってしまう。
- ② ピンpong玉はある高さまで上がる、その高さで止まる。



正解は、②で、ある高さでピンpong玉は止まります。では、その理由は何でしょうか？ドライヤーの風による抵抗力とピンpong玉にはたらく重力がつりあっているからと考えた人は正解です。しかし、ドライヤーをある程度傾けたとしても、ピンpong玉はある位置にとどまり落ちてきません。なぜでしょうか？空気抵抗と重力だけでは説明できません。この実験はなぜ飛行機が飛びのか（流体力学・航空力学）につながります。興味や疑問をもった方は、これから先は、自分で実験するなり、調べるなりしてみてください。



私は、「何故そうなる・どう利用される」をテーマに授業をしています。学習は疑問・興味があつてこそ身につくと考えています。理科に限らず、様々な分野で疑問や興味をもつ生徒が増えてほしいです。

「税についての作文」コンクール 3名の生徒が入選しました！

全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が共催する、中学生「税についての作文」について、このたび学校に審査結果が届きました。3年生が夏の課題として取り組んだ作文はどれも力作ぞろい。その中で本校の3名が見事に入選を果たしました。特に佐藤さんの作品「太古の発明『税金』」は秀逸。弥生時代には既にあった税の制度から思いを馳せ、身近な東京外環開通後の渋滞緩和への期待、国庫の現状、さらに「負担」と「受益」のバランス等への言及など、深い内容が高く評価され、世田谷税務署長賞を受賞しました。何と、佐藤さんは12月に「世田谷税務署一日署長」として“勤務”的予定です！！

世田谷税務署長賞
佐藤 ●●さん（3C）
世田谷納税貯蓄組合連合会優秀賞
伊藤 ●●さん（3D）
矢野 ●●さん（3D）



（写真は、14日に三軒茶屋キャロットタワー26階で行われた表彰式での佐藤さん）

新入生部活動体験・学校紹介（5日）／新入生保護者説明会（9日）報告

『こんにちは～！！』— 明るい元気な挨拶が印象的な喜多見小6年生を迎えて、5日（火）に「新入生部活動体験・学校紹介」を実施しました。生の授業や施設を見学した後、中学校生活について生徒会役員によるスライドや動画を用いたプレゼンがありました。その後の部活動体験では、各部の体験メニューを通じて、両校の子どもたちが楽しそうに交流をする様子がありました。また、9日（土）には、「新入生保護者説明会」を開催。校長から経営の方針の他、各主幹教諭より入学にあたって情報提供を行いました。説明会に先立つて実施の、「ガイドツアー」は今年も盛況。ご協力いただきました在校生保護者ボランティアの皆様に心より感謝申し上げます。



◎次回の学校公開は、2月3日（月）から8日（土）です。本期間以外でも、いつでもご参観いただけます。遠慮なくご相談ください。

「ガイドツアー」保護者ボランティア お礼と報告

今年度も在校生保護者ボランティアの皆様が、小学生の保護者の方々を対象にガイドをしていただき、質問や不安ごとにお答えくださいました。ご協力、ありがとうございました！



【ご協力いただきました保護者の皆様】

鈴木 ●● 様 加藤 ●● 様
石井 ●● 様 石田 ●● 様
荒井 ●● 様 **ありがとうございました！**

トイレ便器の洋式化を進めています

懸案となっていましたトイレの洋便器化を2ヵ年の計画で進めています。昨年度まで校内全28台中、洋便器13台・和便器15台の割合でした。今年度は洋20台・和8台に改修予定です。既に男子の生活フロアは全て洋式に改修が完了しています。次年度は、残る8台のすべてを洋式に改修し、校内にはプールを除き和式便器はなくなります。また、これに伴い、これまで運動会等でご不便をかけていたグラウンド直結のトイレも改修を進め、洋式化はもちろん、授乳やオムツ換え等もできる「だれでもトイレ」も併設して改修をする予定です。



地域で貢献、喜多見中生！

コロナ禍が終息し、地域でボランティア活動に積極的に参加する本校生の姿がもどっています。17日（日）「古着古布回収」、24日（日）「避難所運営訓練」（会場は本校）で、地域の一員としての高い自覚をもって多くの生徒が貢献しました。また、12月2日（月）と3日（火）には、「地域落ち葉掃き」として喜多見団地内の公園での清掃活動を予定しています。子どもたちが活躍する姿を見た際には、ぜひ一声応援をお願いします！（写真は「避難所運営訓練」の模様）



12月の予定から

- 12月2日（月）三者面談（11月29日～5日まで）
9日（月）全校朝礼
10日（火）入試相談等につき3年生午前授業（給食あり）
14日（土）土曜授業日 ②家庭教育セミナー（9時50分開始）
「多様な学びを考える保護者の会」（14時00分から）
24日（火）大掃除（午前授業、給食なし）
25日（水）終業式（給食なし、10時30分頃下校予定）
26日（木）冬季休業（～1月7日） 始業式1月8日
※ 学校休業日 12月29日から1月3日まで

学校図書館を利用してください

29日（金）から三者面談や3年生対象の校長面接練習が始まります。待ち時間を利用してぜひ図書館を利用してください。また、部活動でも極力再登校をすることのないよう指導しています。読書はもちろん、学習室としても、積極的に図書館の利用を奨励します。来校の際は、お立ち寄りください！

12月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 □	4	5 ○	6	7
8	9	10 □	11	12 ○	13	14
15	16	17 □	18	19 ○	20	21
22	23	24 □	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

【担当SC】□：江部 ○：高瀬

【場所】相談室は中央校舎1階 保健室の隣です

相談室直通ダイヤル
03-3417-5372